

ちょっと一言!!

市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せた思いをインタビューしました。

●今年が行方市誕生から10周年。旧3町の意識は残っているようですが、仕方ない事。歳月を経れば自然と解け合うと信じます。武湖に囲まれた肥沃なこの行方の地も、ジリ貧からぬけ出せないでいる。国は地方創生にあたり、やる気のある所、アイデアを出してきた所に重点配分する方針だ。行政・議会が知恵を絞るのは素よりだが、私達市民も危機意識を持って、真剣に明日の行方を考えなくてはいけないだろう。自分や子供達の未来のために。
(60代・男性)

感じます。いつまでも元気で、家族や地域の人達に迷惑をかけないように生きていきたいと常に思っています。今年も行方市の総合健診が予定されていますね。毎日を健康で安心して生活するために健診は大切なことです。サポーター役の保健センターの皆様、いつもお世話になり有難うございます。
(60代・女性)

●「議会だより」を細部まで読み込んでいる方がどの位いらっしゃるのでしょうか。もちろん、市政の今後を真剣に考え、議論を交えていることは分かっています。ただ、日々の生活に追われ、市政のことは議員の方々に「お任せ」してしまっている現状があります。傍聴に行く勇氣もありません。細かい字を読むことも億劫になりつつあります。市民が市政にもっと関心を持ち、正しく認識していくため情報提供は大切です。議会の情報が耳から入って来るような工夫、例えば、防災無線等を使って、議会の要点だけでも放送されれば、関心は増すのではないのでしょうか。議会からの「発信」が、市民の心に「着信」できれば、「返信」につながり、偏りのない市政の実現に近づくとともに思っています。
(50代・女性)

●私には、4月で4年生になる孫がいます。今度、4年生から対象になる無料学習塾が開始するという話を聞き、とっても喜んでる一人です。確かに4年生になると、とっても難しくなると思います。勤めてる母親に代わって勉強を教えてあげようと思っても無理です。塾に携わる先生方に感謝申し上げます。
(50代・女性)

●今、全国的に少子高齢化社会となり、地方自治体も苦難の時代に入りました。行方市も人口減少地域に挙げられています。高齢化は、益々増大します。若い人達をいかに流入し、定住化させるか、各地方で色々と工夫検討しています。そこで、行方市は日本一という施策を3つぐらい目玉事業とし、全国発信してはどうでしょう。人口の衰退は私達が不幸になり、増加はすべての発展につながると思っています。
(70代・男性)



任期中の広報委員

おことわり
議員の任期が平成27年4月23日で満了したため、行方市議会広報委員会の委員の選任の都合上、誠に勝手ながら今号の編集後記はお休みさせていただきますました。
次号からまた再開しますのでご了承ください。

*読みやすい
議会だよりを目指し、今号から一般質問ページを「1議員につき半ページ」に要約して掲載しています。

